

第3章 第2期データヘルス計画の評価

1. 第2期データヘルス計画全体の評価

第2期データヘルス計画全般に係る評価として、全体目標及びその達成状況について示したものです。

全体目標	1. 健康を保つための疾病予防 2. 安心できる医療サービスの提供
------	----------------------------------------------------

評価指標	計画策定時実績 平成28年度	目標値(上段) / 実績値(下段)		評価・考察 (成功・未達要因)
		中間評価時点 令和2年度	現状値 令和4年度	
生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合	20.4%	21%以上	22%以上 (最終年度目標値)	健康意識向上のための効果的な周知が不足していた。
		20.43%	18.8%	
年齢構成が国と同じ割合の1人当たり医療費 ※	0.843	0.83以下	0.82以下 (最終年度目標値)	・ジェネリック医薬品の差額通知を送付し、利用促進の啓発に努めることで一定の効果を上げたが、更なる利用促進を促す必要がある。 ・重症化予防事業に注力し、勸奨だけでなくその後の受診状況に応じて再勸奨等を行ったが、治療を中断してしまった者への対策が必要であった。
		0.831	厚労省が数値未公表のため、実績値の数値は不明です。	

※厚生労働省「医療費の地域差分析」、地域差指数(市町村基礎データ単年度)

2.各事業の達成状況

第2期データヘルス計画の事業方針に基づき、実施した各事業についての達成状況を示したものです。

第2期データヘルス計画の事業方針

A：健康状態を把握するための機会の提供 B：健康づくりに取り組めるしかけづくり
C：重症化予防に必要な医療受診等の案内 D：医療等の負担が少ない受診方法等の啓発

事業名	実施年度	事業方針	実施内容
①特定健康診査	平成30年 ～ 令和5年	A 健康状態を把握するための 機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに着目した健診 ・委託医療機関個別受診方式
②特定健康診査 受診勧奨	平成30年 ～ 令和5年		<ul style="list-style-type: none"> ・勧奨通知を個別送付 ・窓口等で特定健康診査に関するPRを実施
③早期介入健診事業	平成30年 ～ 令和5年		<ul style="list-style-type: none"> (ヤング健診) ・特定健康診査に準じた健診 ・委託医療機関個別受診方式
			<ul style="list-style-type: none"> (ICTを活用した検査) ・ヤング健診未受診者を対象にしたインターネットを活用した郵送型の血液検査 ・検査結果の通知、健康に関するアドバイス提供をメールで実施
④がん検診	平成30年 ～ 令和5年	B 健康づくりに取り組める しかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・単独検診の他、特定健康診査と同時受診もできる ・委託医療機関個別受診方式
⑤特定保健指導	平成30年 ～ 令和5年		<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査の結果により対象者を判定して行う保健指導
⑥特定保健指導 未利用者対策	平成30年 ～ 令和5年		<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の予約及び利用がない者に、利用勧奨を実施

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 平成28年度	目標値 令和5年度	達成状況 令和4年度	評価
特定健康診査受診率(法定報告値)	45.9%	60%以上	46.4%	4
健康状態未把握層の減少	41.2%	35%以下	40.8%	
対象者への事業周知率	対象者全員	対象者全員	対象者全員	5
受診勧奨した人の受診率	25.7%	26%以上	36.7%	
受診率	8.6%	11%以上	8.4%	2
特定健康診査40歳～44歳受診率(法定報告値)	24.4%	27.5%以上	22.5%	
利用率	6.5%	7.5%以上	3.2%	2
特定健康診査40歳～44歳受診率(法定報告値)	24.4%	27.5%以上	22.5%	
各がん検診の受診率	-	50%以上	胃がん:27.5% 大腸がん:28.9% 肺がん:28.6% 子宮頸がん:24.0% 乳がん:26.9%	2
各がん検診の精密検査受診率	-	90%以上	胃がん:88.5% 大腸がん:70.0% 肺がん:85.4% 子宮頸がん:80.4% 乳がん:86.8% (R5.12末時点)	
実施率(法定報告値)	16.3%	60%以上	14.2%	3
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少 (法定報告値)	25.6%	30%以上	34.7%	
未利用者勧奨実施率	95%	95%以上	100%	2
利用勧奨した人の特定保健指導利用率	11%	11%以上	5.8%	

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
⑦健康意識向上の取り組み (特典(インセンティブ) 事業・各種講座)	平成30年 ～ 令和5年	B 健康づくりに取り組める しかけづくり	(あんじょう健康マイレージ事業) ・健康づくりの特典(インセンティブ)事業として、 健診受診等でポイントが貯まるマイレージ事業
			(各種講座) ・健康に関する知識の普及を行う事業として、市民 健康講座、まちかど講座等の各種講座を実施
⑧「糖尿病」及び 「糖尿病性腎症」の 医療受診勧奨	平成30年 ～ 令和5年	C 重症化予防に必要な医療受 診等の案内	【糖尿病医療機関受診勧奨】 ・糖尿病等の医療受診の必要があると推測される リスク保有者に、医療機関への受診勧奨を訪問、 電話等で実施
			【糖尿病性腎症医療受診勧奨】 ・糖尿病等の医療受診の必要があると推測される リスク保有者に、医療機関への受診勧奨を訪問、 電話等で実施
⑨「高血圧」及び「脂質異常 症」リスク保有者への 情報提供	平成30年 ～ 令和5年		・血圧及び脂質の医療受診の必要があると推測さ れるリスク保有者への情報提供

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 平成28年度	目標値 令和5年度	達成状況 令和4年度	評価
達成者数(カードの交付数)	699人	前年度比増	1,121人	4
生活改善意欲(法定報告値)	66.5%	70%以上	68.4%	
-	-	-	-	4
生活改善意欲(法定報告値)	66.5%	70%以上	68.4%	
特定保健指導の対象者:受診勧奨実施率	98%	95%以上	100%	5
特定保健指導の対象者:受診勧奨実施者が医療受診した割合	12.30%	15%以上	38.5%	
特定保健指導の対象外者(非肥満):受診勧奨実施率	100%	95%以上	100%	5
特定保健指導の対象外者(非肥満):受診勧奨実施者が医療受診した割合	23.4%	25%以上	75.0%	
受診勧奨実施率	-	95%以上	100%	5
受診勧奨実施者が医療受診した割合	-	25%以上	58.3%	
文書での情報提供実施率	-	100%	100%	4
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率 (法定報告値)	25.6%	30%以上	34.7%	

事業名	実施年度	事業目的	実施内容
⑩ジェネリック医薬品等の啓発	平成30年 ～ 令和5年	D 医療費等の負担が少ない 受診方法等の啓発	(ジェネリック医薬品の啓発) ・差額通知の送付及び「ジェネリック医薬品希望」 印字保険証ケース等の啓発用品を配布
			(重複投薬者への通知) ・生活習慣病の薬等が重複している者に通知を送付
⑪各種啓発事業 (啓発チラシ、啓発用品の 配布)	平成30年 ～ 令和5年		・広告折込チラシや市公式ウェブサイトへの掲載 ・窓口やイベントでの啓発用品の配布
⑫医療費通知	平成30年 ～ 令和5年		・世帯主に医療費の額等を記載した通知を送付

5:目標達成
 4:改善している
 3:横ばい
 2:悪化している
 1:評価できない

アウトプット…実施量、実施率を評価 / アウトカム…事業の成果を評価

評価指標 (上段:アウトプット、下段:アウトカム)	計画策定時実績 平成28年度	目標値 令和5年度	達成状況 令和4年度	評価
ジェネリック医薬品差額通知の送付頻度	年4回	年4回	年4回	4
ジェネリック医薬品の数量ベース利用率	73% ※	80%以上	76.9%	
重複投薬者の抽出頻度	毎月	毎月	毎月	4
ジェネリック医薬品の数量ベース利用率	73% ※	80%以上	76.9%	
PRチラシ掲載内容	5テーマ	5テーマ	5テーマ	5
-	-	-	-	
発送回数	年6回(1年分)	年6回(1年分)	年6回(1年分)	5
-	-	-	-	

※平成29年4月時点